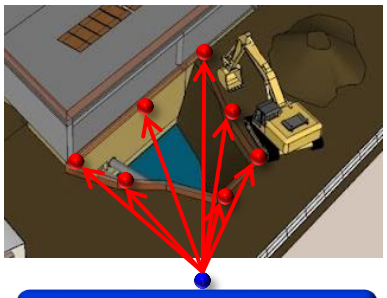
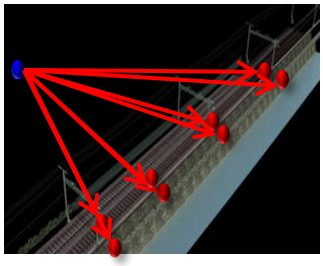
定点・自動変位計測システム『t-navi』

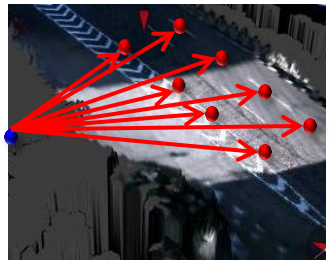
掘削現場



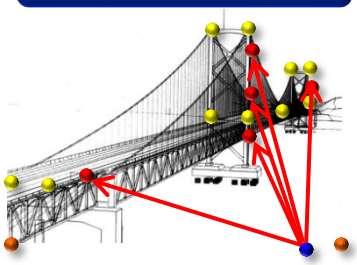
架線



道路/高速道路

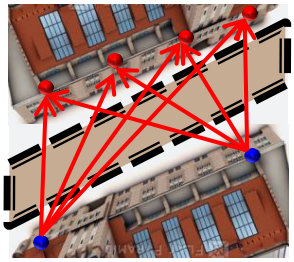


橋梁

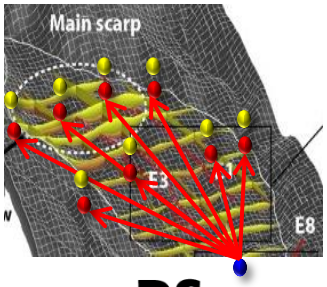


歴史的建造物

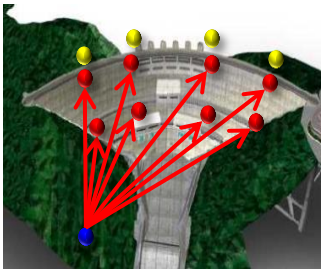
工事現場に隣接する建物



地滑り

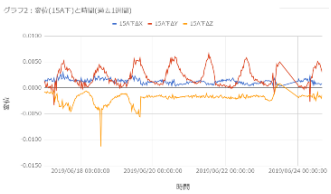


ダム



特設サイト

動作確認機種例



計測状態をクラウドで簡易

自動追尾型のトータルステーションと接続することにより
１台のトータルステーションで複数点の定点観測を自動的に観測が行えます。
データは３次元座標で出力します。
計測結果は警告灯や、メール送信で、リアルタイムに管理可能です。

用途として防災地域・地すべり・ダム・砂防・
シールドマシン計測・橋計測・土留め矢板など
多種多様な現場に対応致します。
設置・運営からお気軽にご相談ください。

システム概要

観測画面

簡単操作

STEP1: 器械点・バック点又は、後方交会で任意の座標系設定

STEP2: 観測点の追加は、座標入力又は測定から簡単登録

STEP3: １観測点のﾃﾞｰﾀの取得は全ﾃﾞｰﾀを表示

SETP4: 現在どの点を観測しているかを親切に表示

SETP5: 「全自動」により、1clickで全点計測可能

SETP6: 「半自動」により、確認しながらの計測が可能

SETP7: タイマー設定により、24時間任意の設定で観測可能

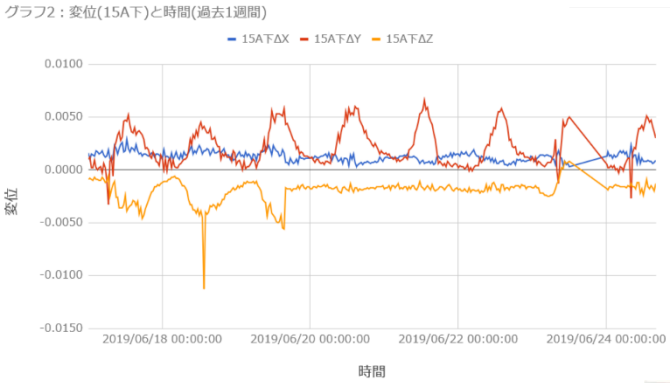
SETP8: 制限値により、メールで異常通知

SETP9: パソコンが途中で止ってしまってもデータは1観測ごとに書き込みしているので消えません

STEP10:データはCSV形式にて出力

メール・パトライト設定

グラフ表示・運営管理



ソフトウェア仕様

稼働ＯＳ	Windows7, 8, 8.1, 10 (32/64bit)
必要なメモリ	ＯＳが推奨するメモリ512MB以上
必要なディスク容量	ＯＳが推奨するディスク容量１GB以上
連続計測時間	稼働ＯＳの連続稼働可能時間、 トータルステーションの連続稼働可能時間で制限(AC電源なら連続)
計測点数	制限はありません
計測精度	計測機器に依存
計測間隔	手動または、時間分によるタイマーの任意設定
計測方法	器械点バック点又は、後方交会の器械設置 **測点ごとの反射シートとプリズムの設定、プリズム定数の設定で計測**
記録データ件数	約20,000,000件（全計測点データ合計）
出力データ形式	計測日時、斜距離、鉛直角、水平角、座標、座標格差をCSV形式で出力

必要とするハードウェア

有線：RS-232C(COMポート)もしくはUSBポート（COM変換ケーブル必要）
無線：Bluetoothアダプター　Class1推奨
パナソニック・タフパッドFZ-G1シリーズ　CF-19シリーズで動作確認済み（2014年9月）
トプコン・ソキア製、自動追尾型トータルステーション　DS　PS　GT　MSシリーズ
その他の製品、カスタマイズについてはご相談ください。　（2019年6月現在）

開発
コンピュータ・システム株式会社
〒602-8453
京都市上京区笹屋町千本西入笹屋四丁目273番3
TEL 075-462-5411(代)　FAX 075-464-2153
http://www.comsys-kk.co.jp